



平成 16 年 10 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社 富士通ゼネラル
 代表者名 代表取締役社長 大石 侑弘
 (コード番号 6755 東証・大証・名証各市場第一部)
 問合せ先 取締役総務・法務部長 篠原 俊次
 TEL (044) - 861 - 7627

中間業績予想の修正について

平成 16 年 7 月 26 日の第 1 四半期決算発表時に公表した連結中間業績予想を下記のとおり修正いたします。また、単独中間業績予想については、平成 16 年 4 月 26 日の決算発表時に公表した中間業績予想の修正であります。

記

1. 17 年 3 月期連結中間業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 16 年 7 月 26 日発表)	81,000	2,700	1,200	600
今 回 修 正 (B)	79,617	2,832	1,906	701
増 減 額 (B - A)	1,383	132	706	101
増 減 率 (%)	1.7	4.9	58.8	16.8
(ご参考) 前期 (平成 15 年 9 月中間期) 実績	77,682	1,979	533	248

2. 17 年 3 月期中間業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 16 年 4 月 26 日発表)	66,000	1,600	800	500
今 回 修 正 (B)	68,913	2,255	2,010	894
増 減 額 (B - A)	2,913	655	1,210	394
増 減 率 (%)	4.4	40.9	151.3	78.8
(ご参考) 前期 (平成 15 年 9 月中間期) 実績	66,243	1,619	706	176

3. 修正の理由

当中間期の連結業績につきましては、国内向け・海外向けともにエアコンの拡販施策が順調に推移いたしましたが、主として海外におけるプラズマディスプレイの売上減少により、売上高は 796 億 1 千 7 百万円 (前回予想 810 億円) となりました。損益面においては、コストダウンや経費削減に加え、為替差益の発生等により、営業利益は 28 億 3 千 2 百万円 (同 27 億円)、経常利益は 19 億 6 百万円 (同 12 億円) となりました。また、事業構造改善費用を特別損失として計上したことにより、中間純利益は 7 億 1 百万円 (同 6 億円) となりました。

なお、当中間期の単独業績につきましては、売上高は 689 億 1 千 3 百万円 (前回予想 660 億円)、営業利益 22 億 5 千 5 百万円 (同 16 億円)、経常利益 20 億 1 千万円 (同 8 億円) となりました。また、事業構造改善費用等を特別損失として計上したことにより、中間純利益は 8 億 9 千 4 百万円 (同 5 億円) となりました。

以 上